覧

九州電力では、関係自治体である由布市と水力発電設備や土砂災害警戒区域などの情報を共有し、大雨や地震に備えております。

今回は、水力発電の特徴や土砂災害警戒区域と水力発電設備(水路など)の位置関係についてご紹介させていただきます。

万が一、大雨や地震の影響により水力発電設備に異常が発生した場合は、由布市と連携を図り、防災ラジオなどでお知らせします。



水力発電所の特徴や仕組み

水力発電の特徴

由布市にある水力発電所は、大分川の水で発電しており、自然の恵みを利用しています。水力発電は、地球温暖化の原因の一つとされているCO₂をほとんど排出しない地球にやさしい貴重なエネルギーです。

水力発電の仕組み

大分川から取り入れた水を高い所(水槽)に貯めた水を低い所に落とすことで、その力を使って水車・発電機を回転させることにより電気を生み出しています。なお、使った水は放水口から川に戻します。

農業を支えるライフライン

発電用水路からかんがい用水にも供給しており、農作物の健全な育成と安定した収穫が期待され、地域の農業振興にも貢献しています。

地震発生後、大雨時の対応

鮎川発電所では、震度5弱以上の地震発生後や土砂災害警戒情報が発表されたときは、取水および発電を停止し、導水路内の水を排出して防災・減災に努めています。

また、日常的な点検のほか、発電再開前に点検を行い、異常がないことを確認しています。

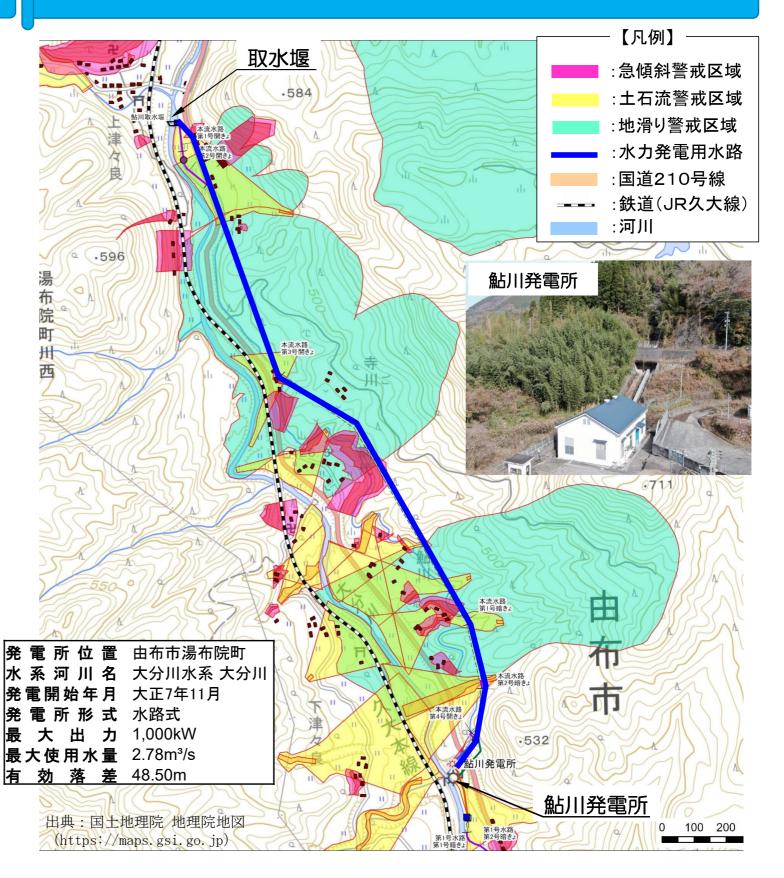
なお、速やかな取水停止に向け、デジタル技術を活用した門扉操作の 遠隔化にも取り組んでいます。

由布市には九州電力の発電所が8か所あり、一般家庭で使用する電気の約30,000世帯分、鮎川発電所は約1,800世帯分を賄っています。 大正時代から地域のみなさまと共に歩んできておりますので、今後も地球にやさしい水力発電を積極的に活用していきます。

〔お問い合わせ先〕 九州電力株式会社 大分水力センター 総括グループ ☎080-6049-5209



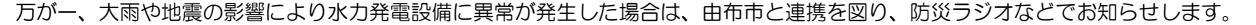
土砂災害警戒区域と鮎川発電所設備



班回覧

九州電力では、関係自治体である由布市と水力発電設備や土砂災害警戒区域などの情報を共有し、大雨や地震に備えております。

今回は、水力発電の特徴や土砂災害警戒区域と水力発電設備(水路など)の位置関係についてご紹介させていただきます。





水力発電所の特徴や仕組み

水力発電の特徴

由布市にある水力発電所は、大分川の水で発電しており、自然の恵みを利用しています。水力発電は、地球温暖化の原因の一つとされているCOっをほとんど排出しない地球にやさしい貴重なエネルギーです。

水力発電の仕組み

大分川から取り入れた水を高い所(水槽)に貯めた水を低い所に落とすことで、その力を使って水車・発電機を回転させることにより電気を生み出しています。なお、使った水は放水口から川に戻します。

農業を支えるライフライン

発電用水路からかんがい用水にも供給しており、農作物の健全な育成と安定した収穫が期待され、地域の農業振興にも貢献しています。

地震発生後、大雨時の対応

幸野発電所では、震度5弱以上の地震発生後や土砂災害警戒情報が発表されたときは、取水および発電を停止し、導水路内の水を排出して防災・減災に努めています。

また、日常的な点検のほか、発電再開前に点検を行い、異常がないことを確認しています。

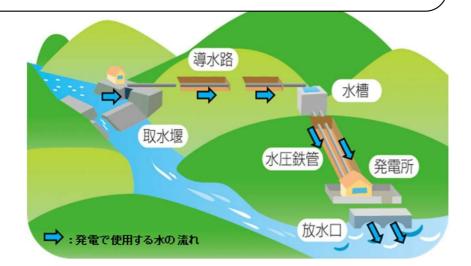
なお、速やかな取水停止に向け、デジタル技術を活用した門扉操作の 遠隔化にも取り組んでいます。

由布市には九州電力の発電所が8か所あり、一般家庭で使用する電気の約30,000世帯分、幸野発電所は約3,400世帯分を賄っています。 大正時代から地域のみなさまと共に歩んできておりますので、今後も地球にやさしい水力発電を積極的に活用していきます。

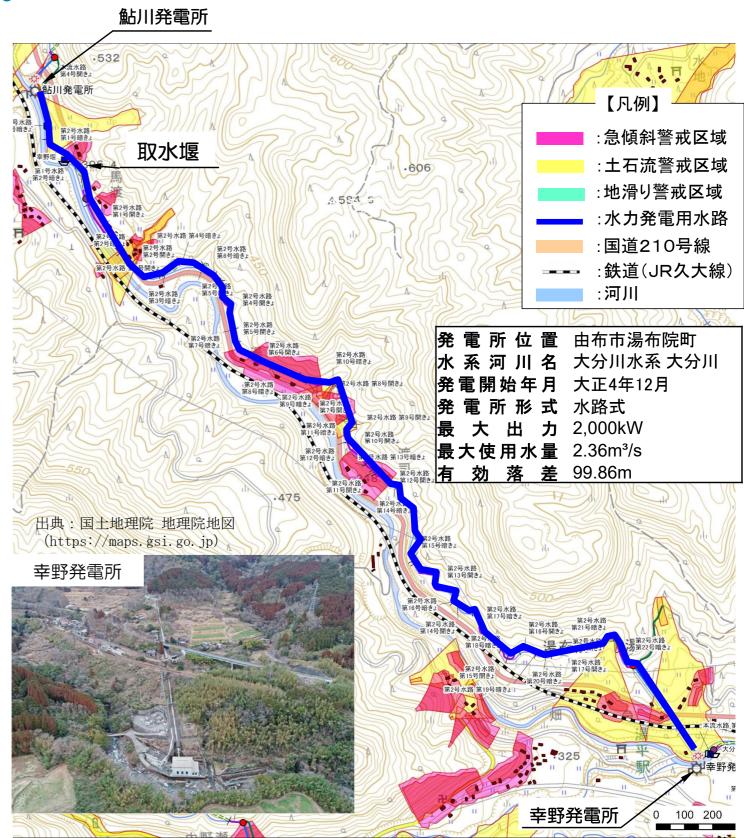
〔お問い合わせ先〕 九州電力株式会社 大分水力センター 総括グループ ☎080-6049-5209



ずっと先まで、明るくしたい。 2025年9月作成



土砂災害警戒区域と幸野発電所設備



班

回

覧

九州電力では、関係自治体である由布市と水力発電設備や土砂災害警戒区域などの情報を共有し、大雨や地震に備えております。

今回は、水力発電の特徴や土砂災害警戒区域と水力発電設備(水路など)の位置関係についてご紹介させていただきます。

万が一、大雨や地震の影響により水力発電設備に異常が発生した場合は、由布市と連携を図り、防災ラジオなどでお知らせします。



水力発電所の特徴や仕組み

水力発電の特徴

由布市にある水力発電所は、大分川の水で発電しており、自然の恵みを利用しています。水力発電は、地球温暖化の原因の一つとされているCOっをほとんど排出しない地球にやさしい貴重なエネルギーです。

水力発電の仕組み

大分川から取り入れた水を高い所(水槽)に貯めた水を低い所に落とすことで、その力を使って水車・発電機を回転させることにより電気を生み出しています。なお、使った水は放水口から川に戻します。

農業を支えるライフライン

発電用水路からかんがい用水にも供給しており、農作物の健全な育成と安定した収穫が期待され、地域の農業振興にも貢献しています。

地震発生後、大雨時の対応

畑発電所では、震度5弱以上の地震発生後や土砂災害警戒情報が発表されたときは、取水および発電を停止し、導水路内の水を排出して防災・減災に努めています。

また、日常的な点検のほか、発電再開前に点検を行い、異常がないことを確認しています。

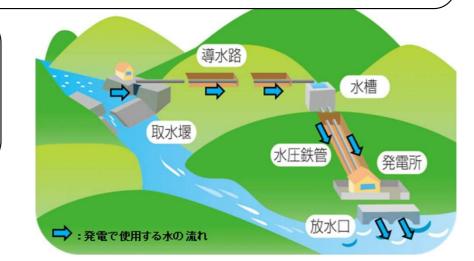
なお、速やかな取水停止に向け、デジタル技術を活用した門扉操作の 遠隔化にも取り組んでいます。

由布市には九州電力の発電所が8か所あり、一般家庭で使用する電気の約30,000世帯分、畑発電所は約1,300世帯分を賄っています。 大正時代から地域のみなさまと共に歩んできておりますので、今後も地球にやさしい水力発電を積極的に活用していきます。

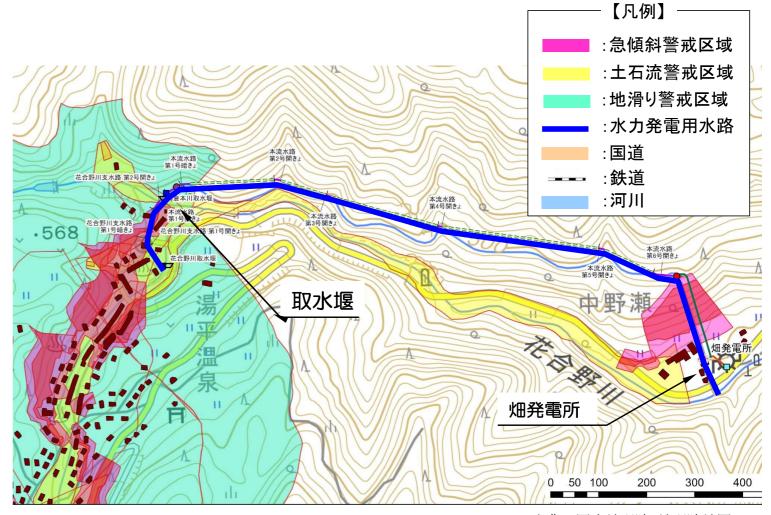
〔お問い合わせ先〕 九州電力株式会社 大分水力センター 総括グループ ☎080-6049-5209



ずっと先まで、明るくしたい。 2025年9月作成



土砂災害警戒区域と畑発電所設備



出典:国土地理院 地理院地図 (https://maps.gsi.go.jp)

発 電 所 位 置 由布市湯布院町

水 系 河 川 名 大分川水系 花合野川、倉本川

発電開始年月 大正7年9月

発電所形式 水路式

最大出力 950kW

最大使用水量 1.39m³/s

有 効 落 差 90.90m

〔 畑発電所 〕

班回覧

九州電力では、関係自治体である由布市と水力発電設備や土砂災害警戒区域などの情報を共有し、大雨や地震に備えております。

今回は、水力発電の特徴や土砂災害警戒区域と水力発電設備(水路など)の位置関係についてご紹介させていただきます。

万が一、大雨や地震の影響により水力発電設備に異常が発生した場合は、由布市と連携を図り、防災ラジオなどでお知らせします。



水力発電所の特徴や仕組み

水力発電の特徴

由布市にある水力発電所は、大分川の水で発電しており、自然の恵みを利用しています。水力発電は、地球温暖化の原因の一つとされているCOっをほとんど排出しない地球にやさしい貴重なエネルギーです。

水力発電の仕組み

大分川から取り入れた水を高い所(水槽)に貯めた水を低い所に落とすことで、その力を使って水車・発電機を回転させることにより電気を生み出しています。なお、使った水は放水口から川に戻します。

農業を支えるライフライン

発電用水路からかんがい用水にも供給しており、農作物の健全な育成と安定した収穫が期待され、地域の農業振興にも貢献しています。

地震発生後、大雨時の対応

下川発電所では、日常的な点検のほか、震度5弱以上の地震発生後や 大雨後に、点検を行い、設備に異常がないことを確認することで、 防災・減災に努めています。

また、デジタル技術を活用した門扉操作の遠隔化にも取り組んでいます。

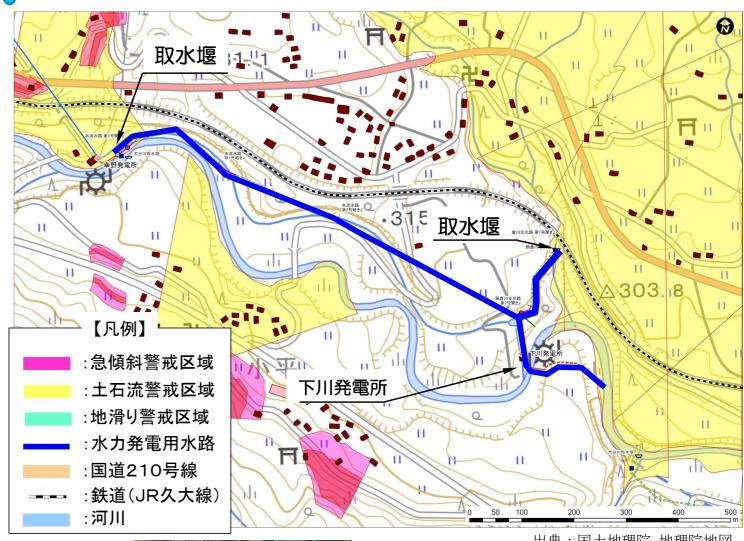
由布市には九州電力の発電所が8か所あり、一般家庭で使用する電気の約30,000世帯分、下川発電所は約1,900世帯分を賄っています。 大正時代から地域のみなさまと共に歩んできておりますので、今後も地球にやさしい水力発電を積極的に活用していきます。

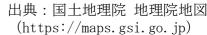
〔お問い合わせ先〕 九州電力株式会社 大分水力センター 総括グループ ☎080-6049-5209





土砂災害警戒区域と下川発電所設備







下川発電所

発電 所位置 由布市湯布院町

水 系 河 川 名 大分川水系 大分川、鍋倉川

発電開始年月 大正7年9月

発電所形式 水路式

最 大 出 力 1,400kW

最大使用水量 4.73m³/s 有 効 落 差 35.50m

班回り

九州電力では、関係自治体である由布市と水力発電設備や土砂災害警戒区域などの情報を共有し、大雨や地震に備えております。

今回は、水力発電の特徴や土砂災害警戒区域と水力発電設備(水路など)の位置関係についてご紹介させていただきます。

万が一、大雨や地震の影響により水力発電設備に異常が発生した場合は、由布市と連携を図り、防災ラジオなどでお知らせします。



水力発電所の特徴や仕組み

水力発電の特徴

由布市にある水力発電所は、大分川の水で発電しており、自然の恵みを利用しています。水力発電は、地球温暖化の原因の一つとされているCO₂をほとんど排出しない地球にやさしい貴重なエネルギーです。

水力発電の仕組み

大分川から取り入れた水を高い所(水槽)に貯めた水を低い所に落とすことで、その力を使って水車・発電機を回転させることにより電気を生み出しています。なお、使った水は放水口から川に戻します。

農業を支えるライフライン

発電用水路からかんがい用水にも供給しており、農作物の健全な育成と安定した収穫が期待され、地域の農業振興にも貢献しています。

地震発生後、大雨時の対応

柿原発電所では、震度5弱以上の地震発生後は、取水および発電を停止し、導水路内の水を排出して防災・減災に努めています。

なお、日常的な点検のほか、地震発生後の発電再開前や大雨が降った あとに点検を行い、異常がないことを確認しています。

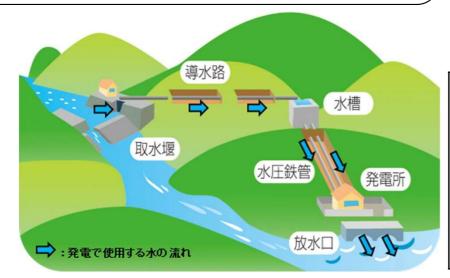
また、速やかな取水停止に向け、デジタル技術を活用した門扉操作の 遠隔化にも取り組んでいます。

由布市には九州電力の発電所が8か所あり、一般家庭で使用する電気の約30,000世帯分、柿原発電所は約5,100世帯分を賄っています。 大正時代から地域のみなさまと共に歩んできておりますので、今後も地球にやさしい水力発電を積極的に活用していきます。

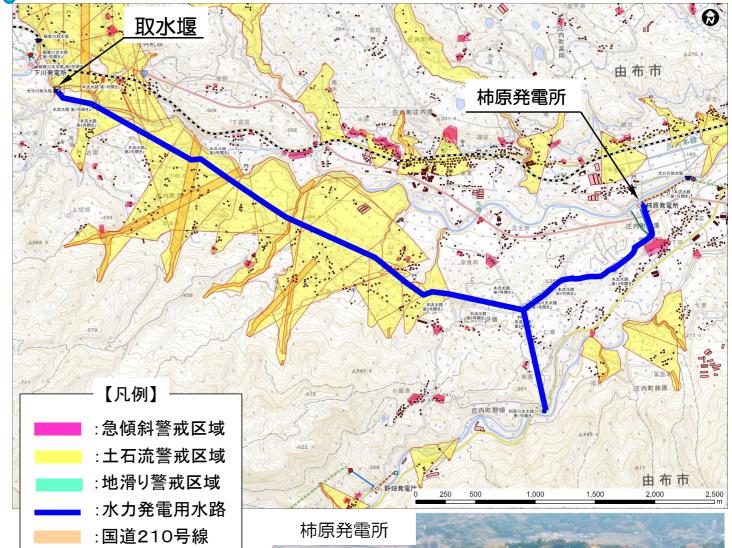
〔お問い合わせ先〕 九州電力株式会社 大分水力センター 総括グループ ☎080-6049-5209



ずっと先まで、明るくしたい。 2025年9月作成



土砂災害警戒区域と柿原発電所設備



出典:国土地理院 地理院地図 (https://maps.gsi.go.jp)

:河川

---: :鉄道(JR久大線)

発 電 所 位 置 由布市庄内町 大分川水系 大分川、 阿蘇野川

発電開始年月 大正7年5月

発電所形式 水路式

最 大 出 力 5,700kW 最大使用水量 7.20m³/s

有 効 落 差 95.01m



班回

九州電力では、関係自治体である由布市と水力発電設備や土砂災害警戒区域などの情報を共有し、大雨や地震に備えております。

今回は、水力発電の特徴や土砂災害警戒区域と水力発電設備(水路など)の位置関係についてご紹介させていただきます。

万が一、大雨や地震の影響により水力発電設備に異常が発生した場合は、由布市と連携を図り、防災ラジオなどでお知らせします。



水力発電所の特徴や仕組み

水力発電の特徴

由布市にある水力発電所は、大分川の水で発電しており、自然の恵みを利用しています。水力発電は、地球温暖化の原因の一つとされているCOっをほとんど排出しない地球にやさしい貴重なエネルギーです。

水力発電の仕組み

大分川から取り入れた水を高い所(水槽)に貯めた水を低い所に落とすことで、その力を使って水車・発電機を回転させることにより電気を生み出しています。なお、使った水は放水口から川に戻します。

農業を支えるライフライン

発電用水路からかんがい用水にも供給しており、農作物の健全な育成と安定した収穫が期待され、地域の農業振興にも貢献しています。

地震発生後、大雨時の対応

野畑発電所では、震度5弱以上の地震発生後は、取水および発電を停止し、導水路内の水を排出して防災・減災に努めています。

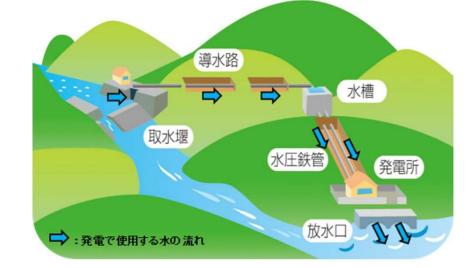
なお、日常的な点検のほか、地震発生後の発電再開前や大雨が降った あとに点検を行い、異常がないことを確認しています。

また、速やかな取水停止に向け、デジタル技術を活用した門扉操作の 遠隔化にも取り組んでいます。

由布市には九州電力の発電所が8か所あり、一般家庭で使用する電気の約30,000世帯分、野畑発電所は約4,800世帯分を賄っています。 大正時代から地域のみなさまと共に歩んできておりますので、今後も地球にやさしい水力発電を積極的に活用していきます。

〔お問い合わせ先〕 九州電力株式会社 大分水力センター 総括グループ ☎080-6049-5209





土砂災害警戒区域と野畑発電所設備



班

口

九州電力では、関係自治体である由布市と水力発電設備や土砂災害警戒区域などの情報を共有し、大雨や地震に備えております。

今回は、水力発電の特徴や土砂災害警戒区域と水力発電設備(水路など)の位置関係についてご紹介させていただきます。

万が一、大雨や地震の影響により水力発電設備に異常が発生した場合は、由布市と連携を図り、防災ラジオなどでお知らせします。



水力発電所の特徴や仕組み

水力発電の特徴

由布市にある水力発電所は、大分川の水で発電しており、自然の恵み を利用しています。水力発電は、地球温暖化の原因の一つとされてい るCOっをほとんど排出しない地球にやさしい貴重なエネルギーです。

水力発電の仕組み

大分川から取り入れた水を高い所(水槽)に貯めた水を低い所に落と すことで、その力を使って水車・発電機を回転させることにより電気 を生み出しています。なお、使った水は放水口から川に戻します。

農業を支えるライフライン

発電用水路からかんがい用水にも供給しており、農作物の健全な育成 と安定した収穫が期待され、地域の農業振興にも貢献しています。

地震発生後、大雨時の対応

大竜発電所では、震度5弱以上の地震発生後は、取水および発電を停 止し、導水路内の水を排出して防災・減災に努めています。

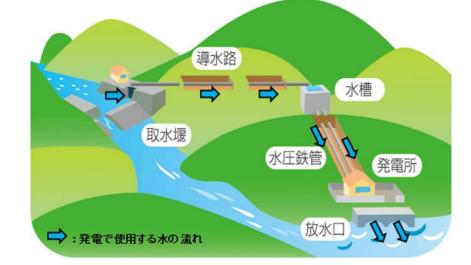
なお、日常的な点検のほか、地震発生後の発電再開前や大雨が降った あとに点検を行い、異常がないことを確認しています。

なお、速やかな取水停止に向け、デジタル技術を活用した門扉操作の 遠隔化にも取り組んでいます。

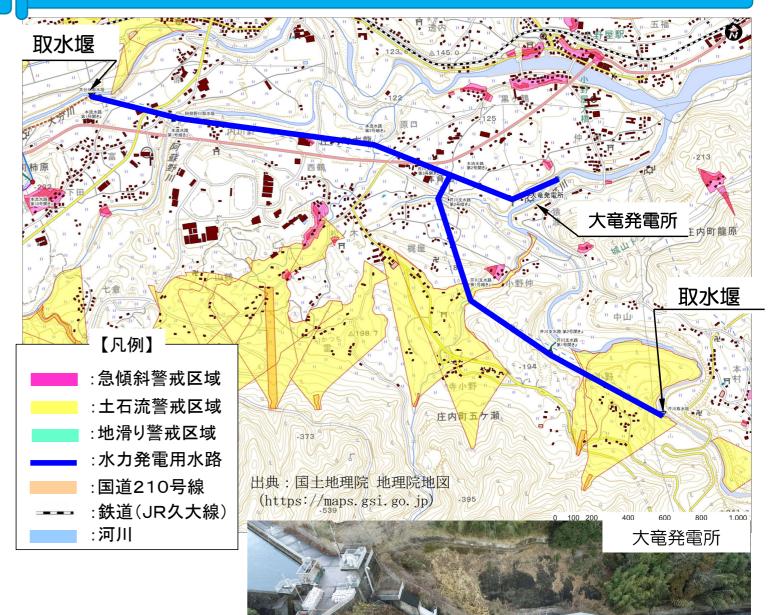
由布市には九州電力の発電所が8か所あり、一般家庭で使用する電気 の約30,000世帯分、大竜発電所は約3,100世帯分を賄っています。 大正時代から地域のみなさまと共に歩んできておりますので、今後も 地球にやさしい水力発電を積極的に活用していきます。

〔お問い合わせ先〕 九州電力株式会社 大分水力センター 総括グループ **25**080-6049-5209





土砂災害警戒区域と大竜発電所設備



発 電 所 位 置 由布市庄内町 水系河川名 大分川水系 大分川、 芹川、阿蘇野川 |**発 電 開 始 年 月** 大正6年9月

発電 所形式 水路式

最 大 出 力 2,200kW 最大使用水量 8.34m³/s

有 効 落 差 32.63m

班

口

覧

九州電力では、関係自治体である由布市と水力発電設備や土砂災害警戒区域などの情報を共有し、大雨や地震に備えております。

今回は、水力発電の特徴や土砂災害警戒区域と水力発電設備(水路など)の位置関係についてご紹介させていただきます。

万が一、大雨や地震の影響により水力発電設備に異常が発生した場合は、由布市と連携を図り、防災ラジオなどでお知らせします。



水力発電所の特徴や仕組み

水力発電の特徴

由布市にある水力発電所は、大分川の水で発電しており、自然の恵みを利用しています。水力発電は、地球温暖化の原因の一つとされているCOっをほとんど排出しない地球にやさしい貴重なエネルギーです。

水力発電の仕組み

大分川から取り入れた水を高い所(水槽)に貯めた水を低い所に落とすことで、その力を使って水車・発電機を回転させることにより電気を生み出しています。なお、使った水は放水口から川に戻します。

農業を支えるライフライン

発電用水路からかんがい用水にも供給しており、農作物の健全な育成と安定した収穫が期待され、地域の農業振興にも貢献しています。

地震発生後、大雨時の対応

篠原発電所では、震度5弱以上の地震発生後は、取水および発電を停止し、導水路内の水を排出して防災・減災に努めています。

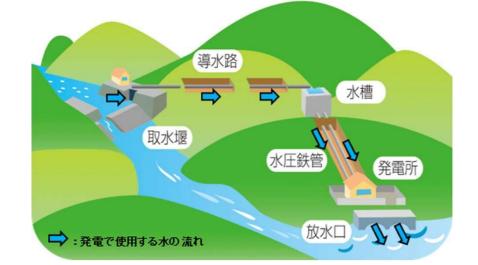
なお、日常的な点検のほか、地震発生後の発電再開前や大雨が降った あとに点検を行い、異常がないことを確認しています。

由布市には九州電力の発電所が8か所あり、一般家庭で使用する電気の約30,000世帯分、篠原発電所は約8,200世帯分を賄っています。 現在、水車・発電機・電気設備等の高経年化対策や今後の長期利用を 目的としたリニューアル工事を実施しております。

大正時代から地域のみなさまと共に歩んできておりますので、今後も地球にやさしい水力発電を積極的に活用していきます。

〔お問い合わせ先〕 九州電力株式会社 大分水力センター 総括グループ ☎080-6049-5209





土砂災害警戒区域と篠原発電所設備

